

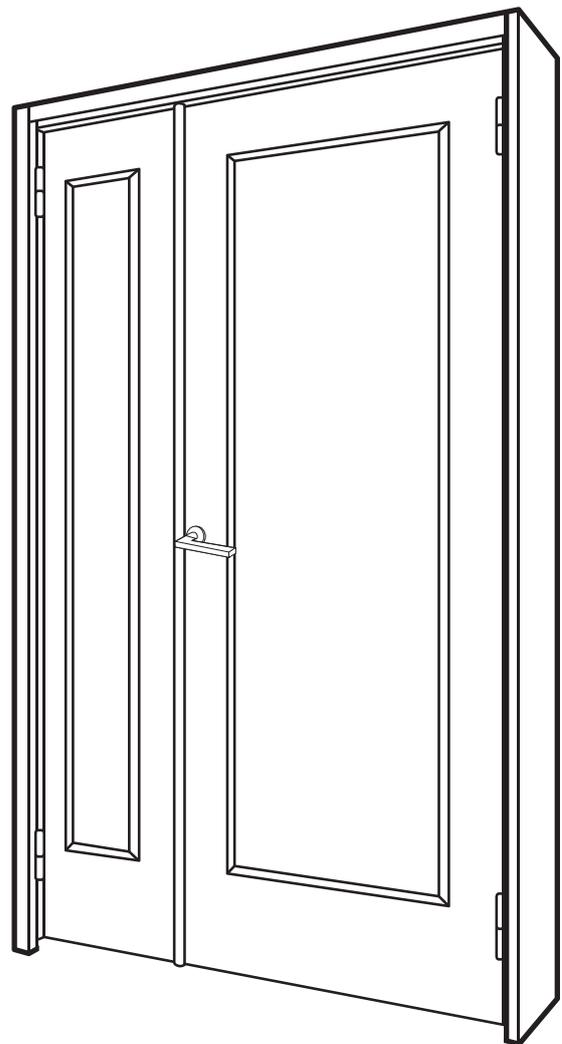
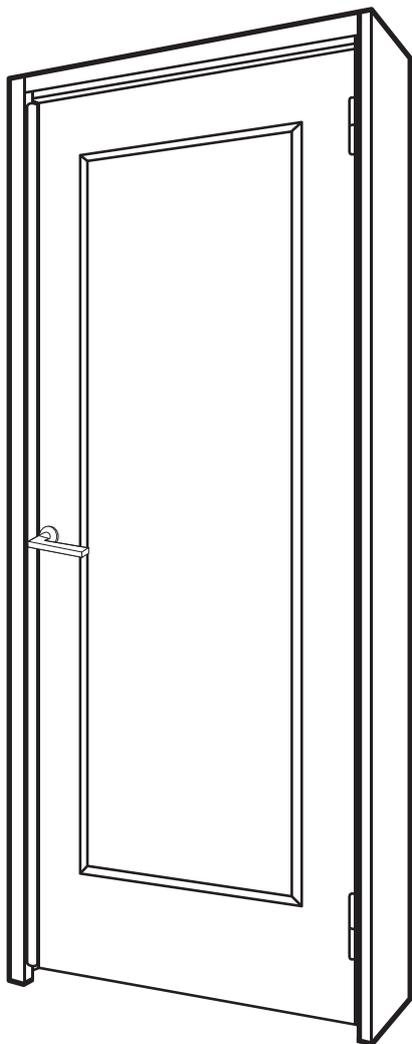
miratap

建具

ノッポ 片開きドア・親子ドア

組立設置説明書 04-NOP01S-06

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



枠の組立てには、同梱のビス・ネジを使用してください。

他のビス・ネジを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、養生材等で養生してください。

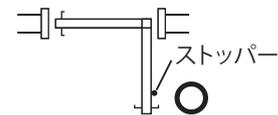
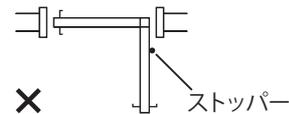


扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



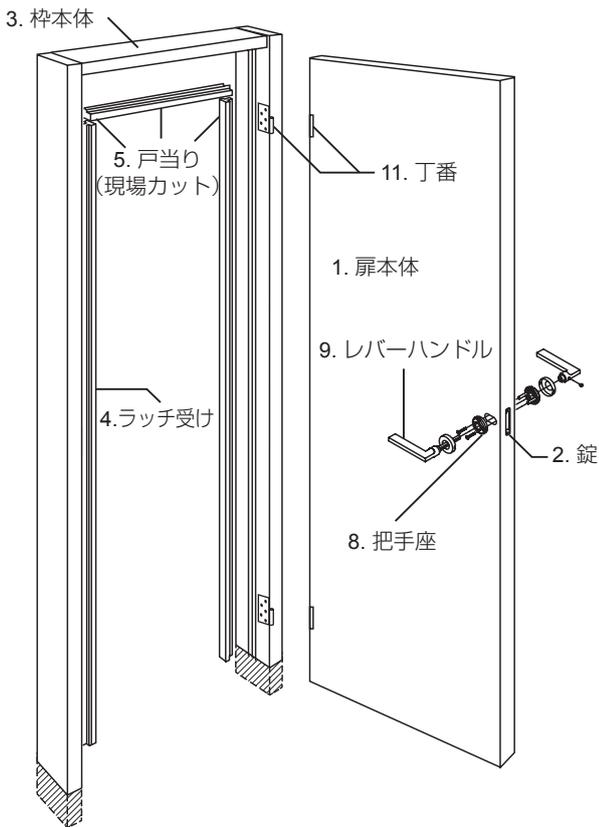
風の強い地域、吹き抜け、高層階等でガラスドアを取り付ける場合、ドアストッパーをご使用ください。強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れる恐れがあります。

※ドアストッパーは、ドアの先端部に取り付けてください。



1 全体図

《固定枠・薄壁枠》
〈片開きドア〉

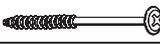


 床に埋め込まない場合は納まりに合わせて現場カットしてください。
※ イラストはH2400以下のものです。

《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体	1
2	錠(取付済)	1

《枠》

番号	名称	数量
3	枠本体 3方枠(縦枠2、上枠1)	1
4	ラッチ受け(取付済)	1
5	戸当たり(同梱)	縦用2 横用1
6	枠組立てビス $\phi 4.0 \times 50$ 	4
7	枠取付ビス $\phi 4.0 \times 50$ 	12 (14)

※上記数量は必要数量です。ビスは上記数量より多い場合があります。

《把手》

番号	名称	数量
8	把手座	1
9	レバーハンドル	1

《丁番》

番号	名称	数量
10	丁番	2(3)
11	丁番取付ビス $\phi 3.8 \times 25$ (扉側用)	8(12)
12	丁番取付ネジ M4×20(枠側用)	10(15)

《その他》

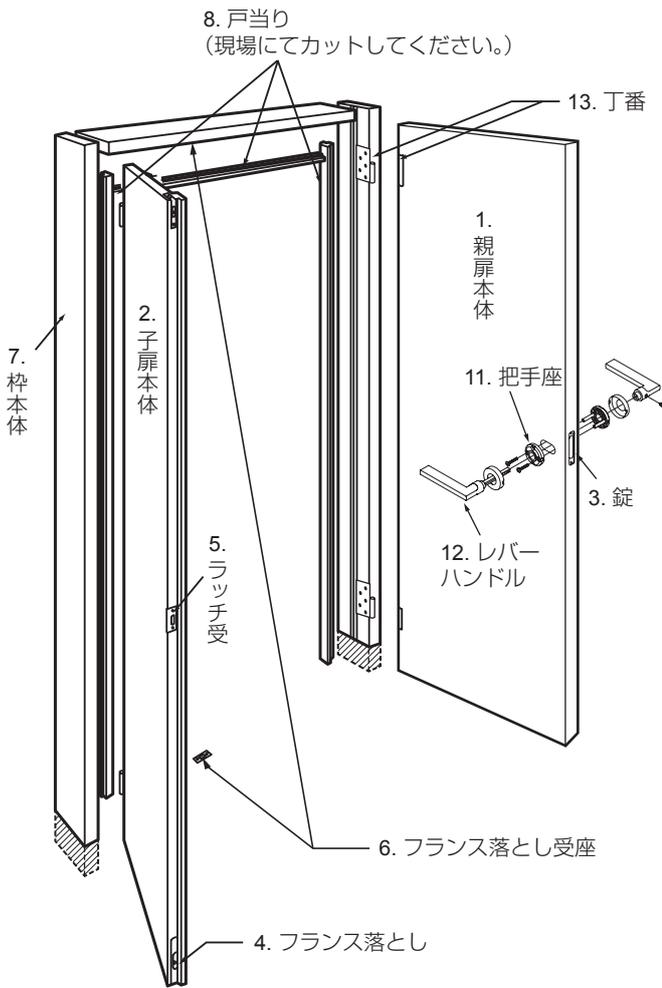
番号	名称	数量
13	組立設置説明書(本紙)・取扱説明書 ※取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	各1

※ 沓摺・床見切をされる場合は別途現場にて手配してください。

※ オプションの戸当り・ドアクローザーをご購入の場合は、部品箱の中に同梱しております。

※ () の数量はH2401~2700までの特注の場合。

《固定枠・薄壁枠》
《親子ドア》



床に埋め込まない場合は納まりに合わせて現場カットしてください。
※ イラストはH2400以下のものです。

《扉》

番号	名称	数量
1	親扉本体	1
2	子扉本体	1
3	錠(取付済)	1
4	フランス落とし(取付済)	2
5	ラッチ受(取付済)	1
6	フランス落とし受け座	2

《枠》

番号	名称	数量
7	枠本体 3方枠(縦枠2、上枠1)	1
8	戸当たり(同梱)	縦用2 横用1
9	枠組立てビス $\phi 4.0 \times 50$ 	4
10	枠取付ビス $\phi 4.0 \times 50$ 	12 (14)

※上記数量は必要数量です。ビスは上記数量より多い場合があります。

《把手》

番号	名称	数量
11	把手座	1
12	レバーハンドル	1

《丁番》

番号	名称	数量
13	丁番	4(6)
14	丁番取付ビス $\phi 3.8 \times 25$ (扉側用)	16(24)
15	丁番取付ネジ M4×20(枠側用)	20(30)

《その他》

番号	名称	数量
16	組立設置説明書(本紙)・取扱説明書 ※取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	各1

※沓摺・床見切をされる場合は別途現場にて手配してください。

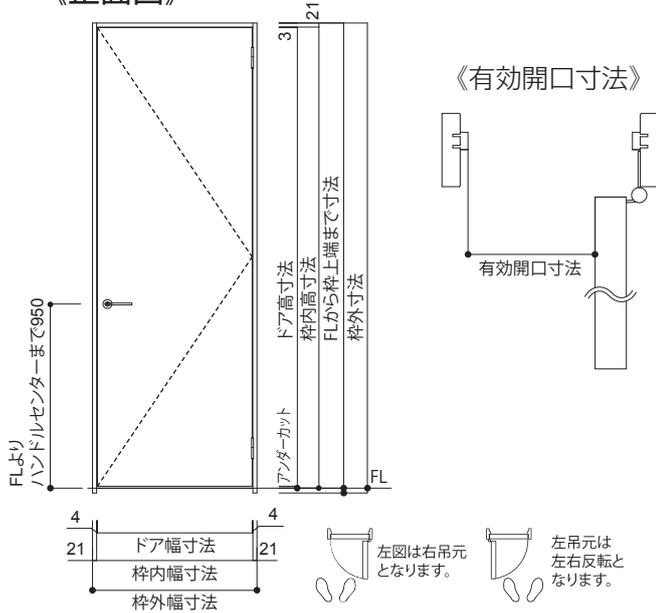
※オプションの戸当り・ドアクローザーをご購入の場合は、部品箱の中に同梱しております。

※ () の数量はH2401~2700までの特注の場合。

2 寸法図

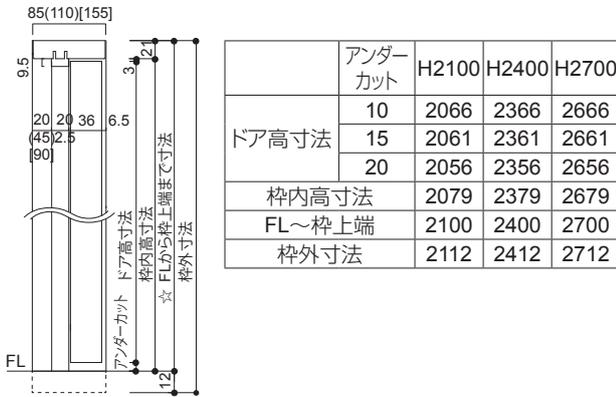
片開きドア

《正面図》

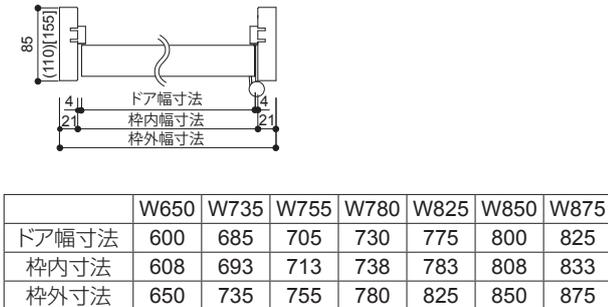


	W650	W735	W755	W780	W825	W850	W875
有効開口寸法	541	626	646	671	716	741	766

《縦断面図》

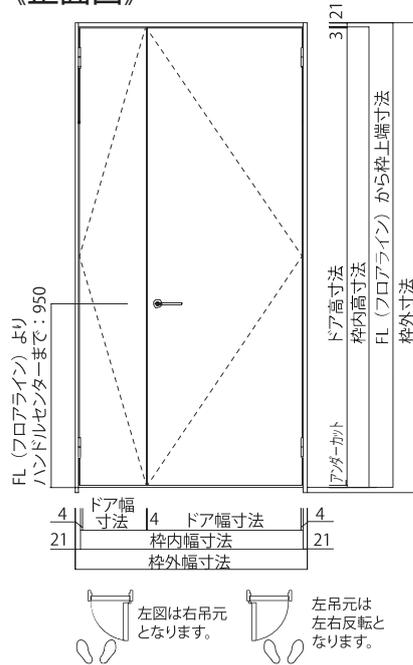


《横断面図》

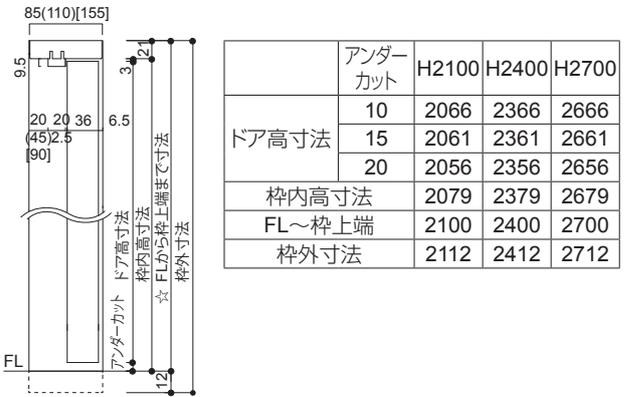


親子ドア

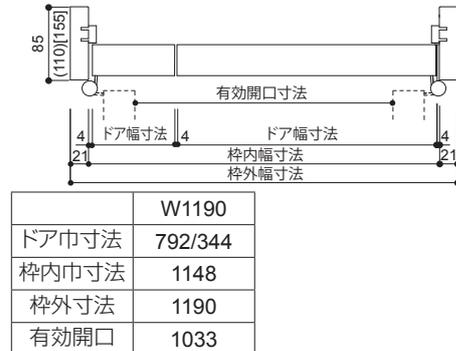
《正面図》



《縦断面図》



《横断面図》



※正面図は代表例の姿図です。

※ () 内寸法は枠見込み110mmの場合、[]内寸法は枠見込み155mmの場合。

※別注サイズの場合は☆の寸法がオーダー寸法になり、枠寸法は12mm長く納品されます。

3 縦断面図

※長さの表記は、「H2100mm / H2400mm / H2700mm」になっています。
 ※H2401mm～H2700mmは特注扱いとなります。

	扉が換気経路になる場合	扉が換気経路にならない場合	沓摺断面図
標準納戸	<p>● 枠下端を12mmカット</p>	<p>● 枠下端を15mmカット</p>	—
薄型沓摺	<p>縦枠中心-沓摺中心:18(30.5) [53]</p> <p>● 枠下端を9mmカット</p>	<p>縦枠中心-沓摺中心:18(30.5) [53]</p> <p>● 枠下端を12mmカット</p>	<p>● 現場手配</p>
床見切	<p>縦枠中心-床見中心:18(30.5) [53]</p> <p>● 枠下端を9mmカット</p>	<p>縦枠中心-床見中心:18(30.5) [53]</p> <p>● 枠下端を12mmカット</p>	<p>● 現場手配</p>

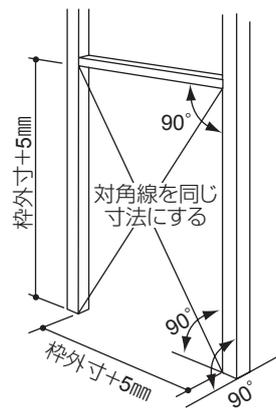
4 壁厚納まり

	D85mm		D110mm	
	9.5mmボード	12.5mmボード	9.5mmボード	12.5mmボード
スタッド 40mm			—	
スタッド 45mm				
スタッド 50mm		—		
スタッド 90mm				—
間柱 105mm			D155mm	
			間柱 105mm	
間柱 120mm				—

5 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 下枠・沓摺は必要な場合は現場手配ください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器等でよく確認してください。垂直、水平がでていない場合、下記の原因となります。
- 枠の固定下地は扉重量が十分耐えうる構造としてください。
吊元側は補強材をダブルにしてください。扉の重みに壁が耐えられず、建具が床をする場合があります。

図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

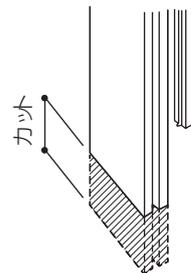


6 施工の前に

枠下端をカットし、床に上乗せにて施工してください。

※扉が換気経路になる場合は枠のカット寸法、高さの寸法が変わります。詳細カット寸法及び納まりは縦断面図 3 (7ページ) を参照ください。

※床下に配管等を設置する時は現場に応じてカットしてください。

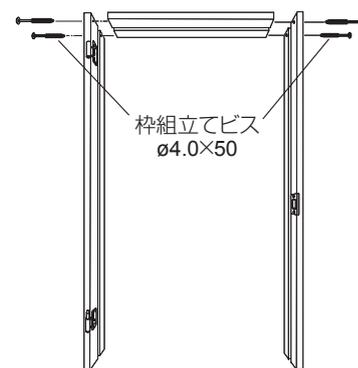


枠を組立ててください。

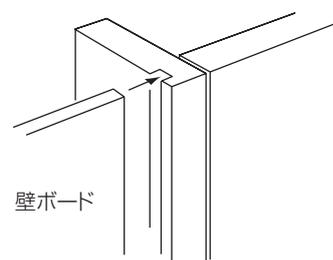
※枠組立てビスをご使用ください。



※縦枠と上枠にズレがないことを確認してください。



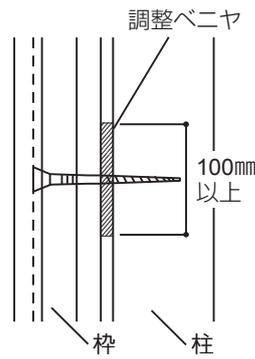
固定枠・薄壁枠の場合は、必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



7 施工手順

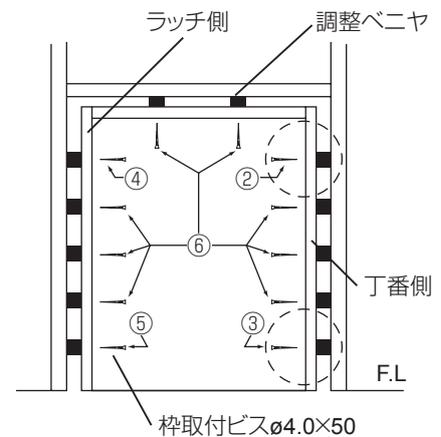
《開口部への枠の取付け》

- ① 枠を固定する際は、枠取付ビスの部分に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100mm以上）を入れてください。



手順②③④⑤⑥部分の調整ベニヤは左図のように入れてください。

- ② 枠を開口部にはめこんで丁番側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠取付ビスで仮固定してください。
- ③ 下げ振り等を使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠取付ビスで仮固定してください。
- ④ 水準器等で上枠の水平を見ながらラッチ側の枠の上部を枠取付ビスで仮固定してください。
- ⑤ 下げ振り等を使って垂直をだしてから、ラッチ側の枠の下側を枠取付ビスで仮固定してください。



- 丁番の調整はあくまで微調整ですので枠の建付けを確認し、しっかりと施行してください。
- 調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

- ⑥ 調整ベニヤを入れて、枠の前後、左右のたわみがないことを確認後、仮固定したビスおよび残りの枠取付ビスで本固定してください。



枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。
扉が閉まらない原因となります。

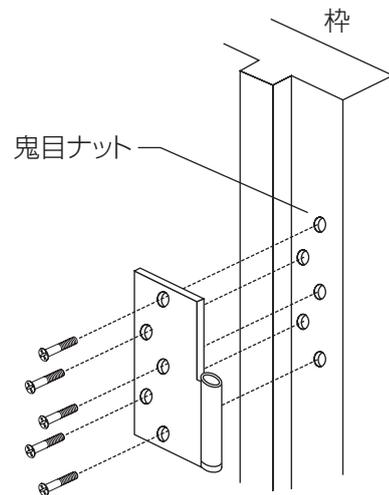


たおれ たいこ つづみ 傾き ねじれ

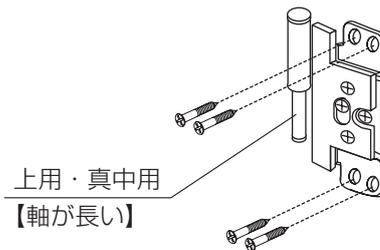
8 扉の吊り込み

《金具の取付方法》

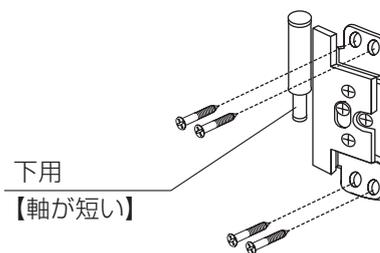
- ①縦枠に枠側の羽根を取付けます。
縦枠の鬼目ナットに向けて、5ヶ所皿ネジ（M4×20）にて締め込みます。
（H2400までは上下2ヶ所、H2401以上は上中下3ヶ所）



- ②ドア側の上部加工部にドア側上用羽根を取付けます。
（丁番についている樹脂カバーを外し、4ヶ所ビス（φ3.8×25）にて締め込みます。）
※3枚丁番の場合は中央加工部にも上用と同様に取付けます。



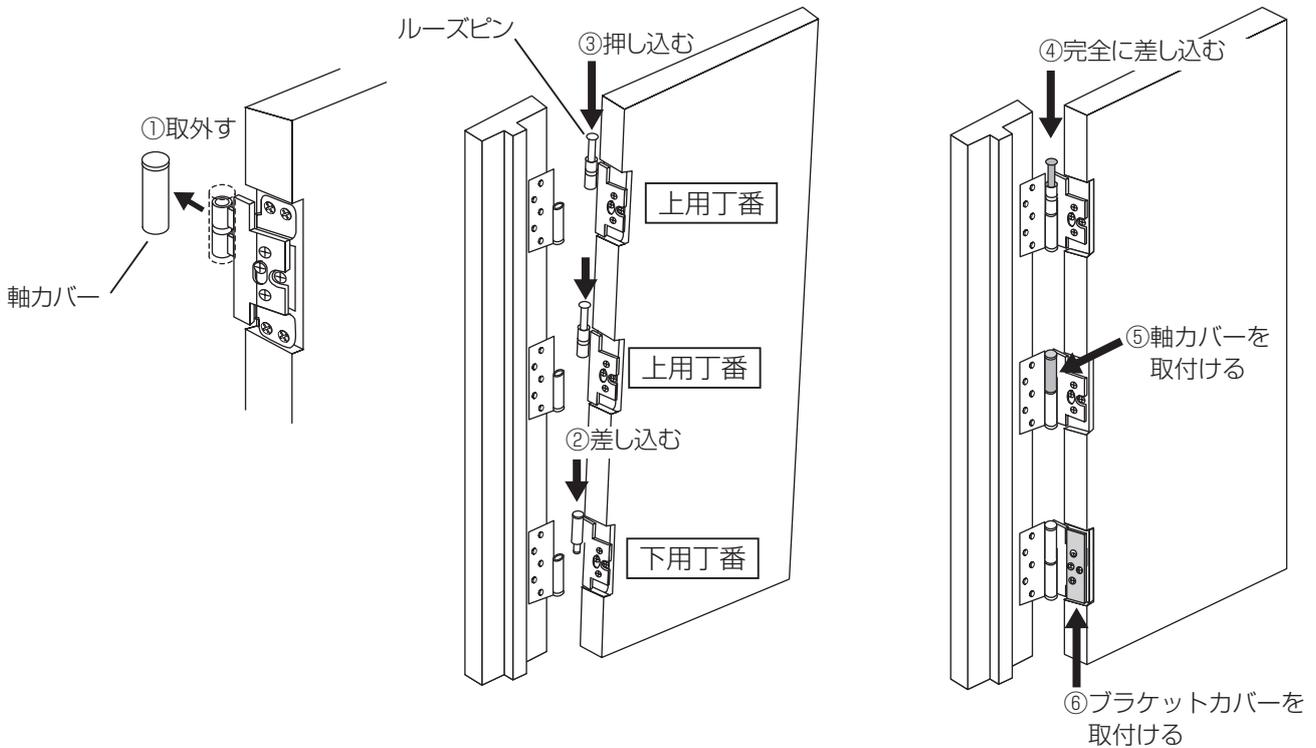
- ③ドア側の下部加工部にドア側下用羽根を取付けます。
（4ヶ所タッピングビスにて締め込みます。）



※上用及び真中用と下用丁番は軸の長さが異なります。

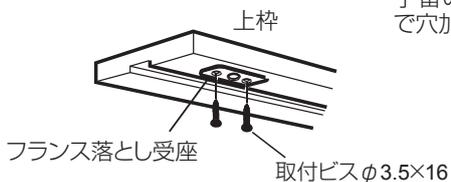
《吊り込み手順》

- ① 上用丁番の軸カバーを外します。
- ② 下用の丁番を先に枠側丁番の管に差し込みます。
- ③ ルーズピンを上げた状態で上用丁番を枠側丁番に引き寄せ、枠側丁番の管に位置を合わせてピンを押し込みます。
- ④ 上用丁番のルーズピンを完全に差し込みます。
- ⑤ 上用丁番の軸カバーを取付けます。
- ⑥ 丁番のブラケットカバーを取付けます。

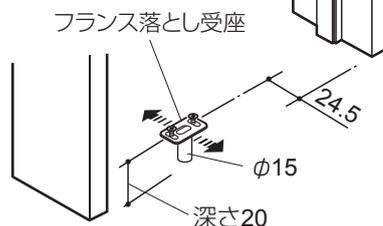


親子ドアの場合

上枠にフランス落とし受座を取付けてください。



床に下図の加工を行いフランス落とし受座を取付けてください。
丁番の調整を行った後、現物合わせで穴加工してください。



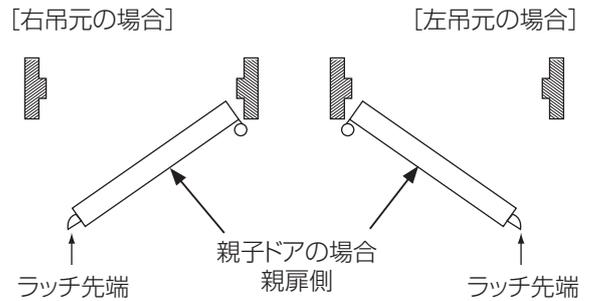
※扉を外す場合は、
枠側丁番の管部の下から、
ドライバーを差し込み、
ルーズピンを下から押し上げ、
芯棒を抜きます。
(この時、芯棒は抜けきって
しまいますのでご注意ください。
※吊り込み易くする為)

9 レバーの取付け

把手座とレバーハンドルを取り付けてください。
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

10 吊元の確認

吊元に対して、ラッチ先端の向き確認してください。

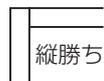


11 戸当りの取付け

戸当りを枠のサイズにあわせてカットし、ドア枠に接着してください。

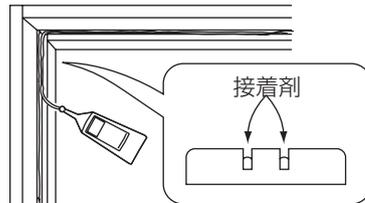
※必ず接着剤を使用してください。

戸当りは必ず縦勝ちで施工してください。

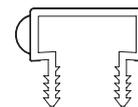


片開きドア用の戸当りは、ラッチ側用と吊元側・上枠用戸当りで断面が異なります。

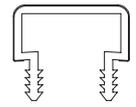
枠溝に縦2本接着剤を塗布してください。



ラッチ側用戸当り (パッキン付き)



吊元側・上枠用戸当り (パッキン無し)



吊元側にパッキン付戸当りを取付ると、開閉に支障をきたしますので、取付る位置にご注意下さい。

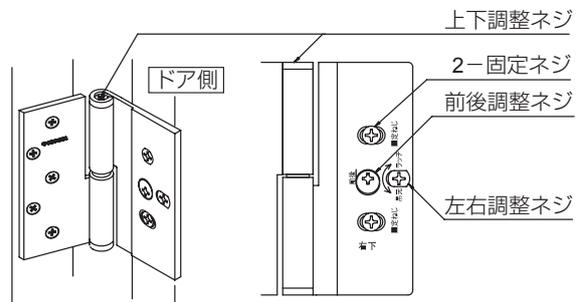


- 接着剤がまんべんなく行き渡るよう、上図のように塗布してください。
- 接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りが外れる恐れがあります。
- 戸当りを固定する接着剤は、木材同士を接着するものではなく、樹脂と木材を接着するものを使用してください。

12 丁番の調整

《手順》

- ①固定ネジを緩める
- ②調整ネジで調整
- ③開閉して隙間等を確認
- ④固定ネジを締める

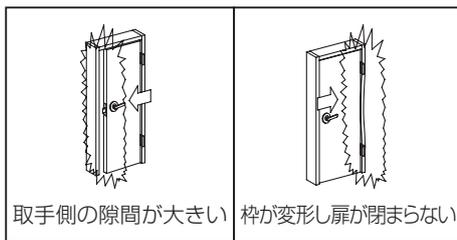


- 調整は必ず手回しドライバーを使用してください。
- 取付ビスは調整時に緩めないでください。
- 固定ネジを緩める時は1回転以上まわさないでください。
- 調整ネジは調整範囲以上まわさないでください。

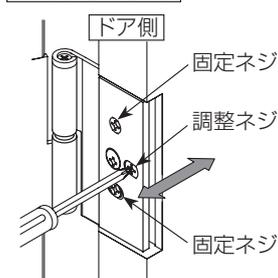
扉を開閉して、扉があたる場合は、調整丁番にて扉の傾きを調整してください。

《左右方向の調整・調整可能範囲±2mm》

建て付け不具合



左右調整方法



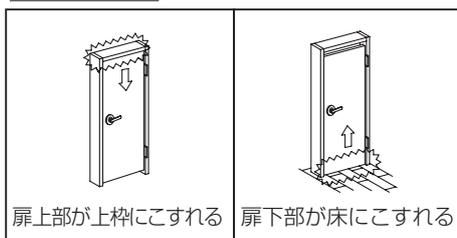
- ①固定ネジを緩める
- ②調整ネジを回す。
右に回す……戸先側に移動（2mm）
左に回す……戸元側に移動（2mm）
- ③調整後、固定ネジを緩め付ける

扉が自動的に開閉する場合は、扉が枠に当たらない範囲で調整を行ってください。

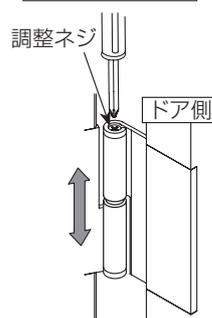
- 扉が閉まってくる場合……上丁番にて扉を丁番側に寄せてください。
- 扉が開いてくる場合……上丁番にて扉をラッチ側に寄せてください。

《上下方向の調整・調整可能範囲±2mm》

建て付け不具合



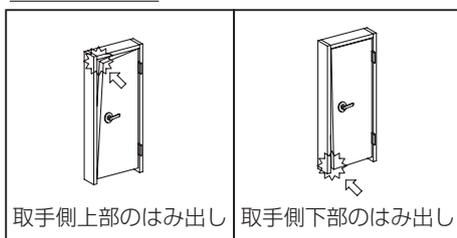
上下調整方法



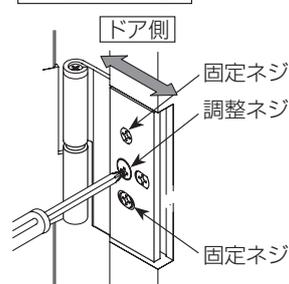
- ①下丁番の軸部分の軸カバーを上へ抜く。
- ②調整ネジを回す。
左に回す……下に下がる（2mm）
右に回す……上に上がる（2mm）
- ③軸カバーを元に戻す。

《前後方向の調整・調整可能範囲±2mm》

建て付け不具合



前後調整方法

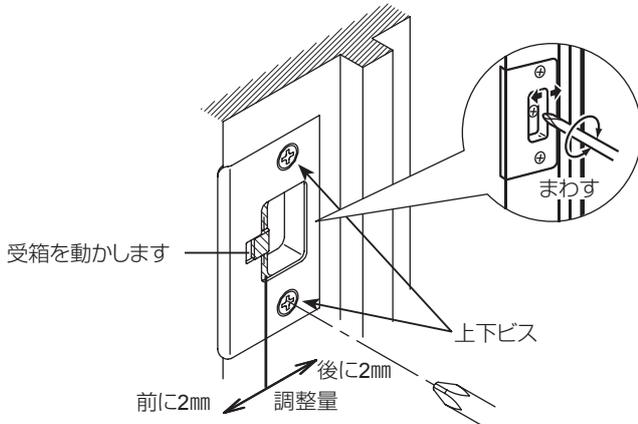


- ①固定ネジを緩める
- ②調整ネジを回す。
寄せたい方向になるまで、回して下さい。
※調整ネジは、エンドレスに回転します。
戸当たり側へ、2mm移動可能
持ち出し側へ、2mm移動可能
- ③調整後、固定ネジを緩め付ける。

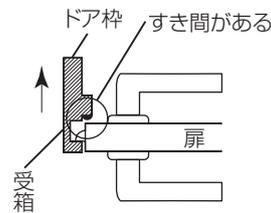
13 ラッチ受けの調整

《片開きドア》

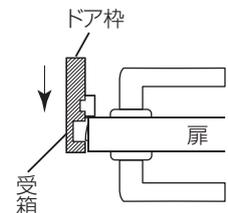
扉がガタついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、上下ビスを緩め、中の受箱を調整してください。（調整可能範囲4mm）。



●ドアがガタつく場合

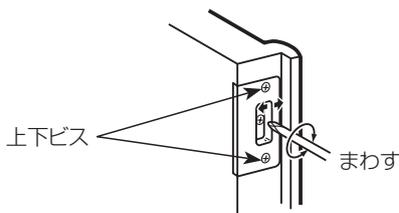


●ラッチがかからない場合

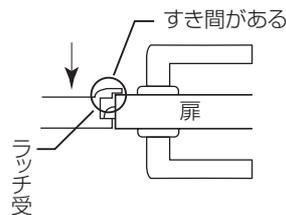


《親子ドア》

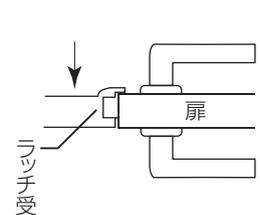
扉がガタついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、上下ビスを緩め、中の受箱を調整してください。（調整可能範囲4mm）。



●ドアがガタつく場合



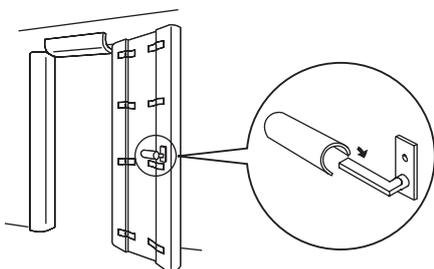
●ラッチがかからない場合



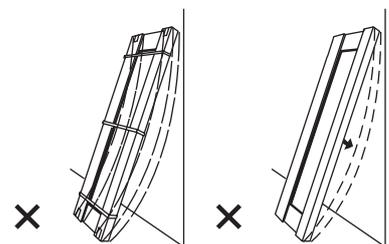
- ネジが緩んだ状態で使用すると、錠に負担が掛かり扉が開かなくなる事故に繋がる恐れがあるので、ネジの増し締めをお願いします。
- レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないでください。

14 養生

工事が完成するまで扉・枠を養生材などで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。

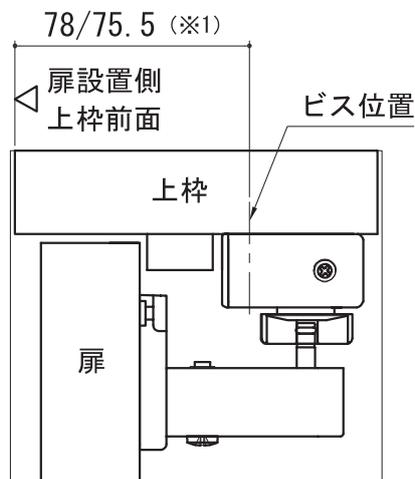


※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。



15 オプションドアダンパー取付けビス芯位置

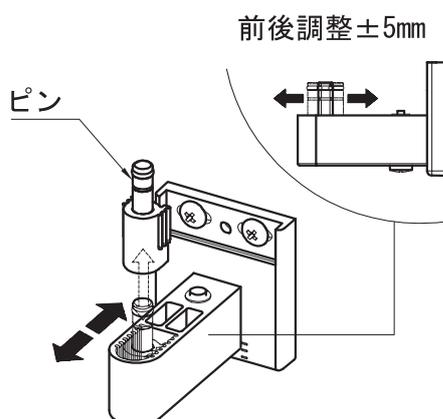
- 扉設置側の上枠前面より、ノッポ・テゴーク：78mm、CFP：75.5mmの箇所がドアダンパー取付けビス芯位置になります。
- 受け金具側の調整機能付きにより、リスト寸法内で許容あり。



	ノッポ・テゴーク	CFP
(※1) ドアダンパー取付けビス芯位置	78mm	75.5mm
85mm枠 / -5mm許容	73~78mm	(※2) 71.5~75.5mm
110mm枠 / ±5mm許容	73~83mm	(※2) 71.5~80.5mm
155mm枠 / ±5mm許容		

(※2)：戸当りにあたる為、下限は71.5mmとなります

受け金具



受け金具はピンの移動により、前後に±5mm調整ができます。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 **FAX: 0120-382-096**

